

平成31年度 令和2年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	36	学校名(課程)	小諸商業高等学校(定時制)
------	----	---------	---------------

1 目 標

○ 社会的・職業的自立に向け、基礎となる能力や態度の育成

2 現状・課題

働くことの社会的責任の認識と職業観や勤労観の育成 このようなことに対する意識が希薄であることが現状であり今後の課題である

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 「働くこと」の意義を理解し、自己理解を深め、適性や興味について考え、主体的に考える力
- b 課題に直面して前向きに考える力、社会で通用する態度や忍耐力などの能力
- c 他者の適性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーションスキルなどの能力

4 内 容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉え、生徒にも意識させる。
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 各学年での取り組みの繋がりを意識し、系統的な指導を行う。
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	ウ 講習会や講演会、体験発表大会等は事後指導、特に振り返りと身についた力(基礎的・汎用的能力)の確認をする。〈②③〉
④卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	エ 年度末に評価(教員・生徒自身)を行い次年度の取り組みや指導に生かす。
	オ 基礎的な学習能力、コミュニケーションスキルを高め、学んでいることと社会の繋がりを意識させる。〈②④〉
	カ 地域社会や産業界等の力を活用する。就業体験の支援を依頼する。〈②③〉

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・基礎学力の定着を図るため、少人数であるが更に個への指導の充実を目指す指導をする ・内容を身近な事象や物に関連付け、分かりやすい授業をする
総合的な探究の時間	・「課題研究」の履修をもって総合的な学習の時間に替える
特別活動	・人間としての在り方、生き方を考えるための講演会、実技講習等 ・勤労観、就業観の形成を促すための、就労奨励及び就労していない生徒への就業体験支援 ・科目選択、進路の研究と選択等
校外の体験活動(就業体験活動等)	・ボランティア、オープンキャンパスの参加
地域や産業界等との連携	・外部講師による地域のビジネス事情に関する講義
評価	・生徒授業評価アンケート、教員自己評価アンケート、面談等で生徒の変容とキャリア教育の取り組みを評価し、次年度の改善に反映
中学校との連携(指導の継続性)	・高校入学時までのキャリア形成の振り返り(入学時)・プレ支援シート提出依頼(保護者了解の上) ・学校説明会で高校のキャリア教育を説明

校内の推進体制	・キャリア教育推進委員会(進路指導係中心) ・全職員で推進
キャリア・パスポートの取組	・各学期末に、振り返りと次期の計画を立てる。(学習、生活、就労の3つの観点による) ・就労支援員のサポートを受け、社会に繋げるステップを計画的に実行する。

5 学年別指導計画

	1 年	2 年
目 標	○自己を知り、社会を知る ○他者を思いやり、良好な人間関係を築く ○基本的な生活習慣の確立	○自己の在り方、生き方を探る ○自分自身の興味・関心について考える ○健全な生活態度、規律ある集団生活
主 な 取 組	○高校生活への適応、仲間づくり ○就労奨励 ○資格取得	○就労していない生徒への就業体験等 ○就労奨励 ○資格取得
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・授業評価アンケート ・個人面接	・生徒意識調査(県教委) ・授業評価アンケート ・個人面談

	3 年	4 年
目 標	○自己の体験等を通して、課題解決能力を身に付ける ○働くことについて考える	○将来の目標・志を立てる ○就きたい職業を考える ○進路実現を目指す
主 な 取 組	○就労していない生徒への就業体験等 ○就労奨励 ○資格取得	○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化 ○資格取得(普通自動車免許含む)
評 価	・生徒意識調査(県教委) ・授業評価アンケート ・個人面談	・生徒意識調査(県教委) ・授業評価アンケート ・個人面談

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特 別 活 動	その他（面接・評価等）
1 年	（記入例）・共生社会と福祉（家庭） ・ともに生きる社会を 目指して（公民）	福祉社会における私たちの役割 を考える 特別養護老人ホーム訪問（交流）	特別養護老人ホーム訪問に向けて （講話及びホームルーム活動）	ポートフォリオを用いた自己 評価
	4 ・シラバス説明 ・英語科 諸外国の事情を知り、世 界の中の日本を意識する。自分が 世界の一員であることを自覚する ・国語科「生活体験発表の準備」 7 （作文・発表の練習）		・生徒会活動を通じ、学年・年齢による社 会的役割の存在を自覚し、自らの責任 を果たそうとする態度を育てる ・校内生徒生活体験発表会参加準備	個人面談 三者面談 授業評価アンケート
	夏 休 9			
	12 ・新聞の切り抜き意見文作り 1 ・生徒会誌寄稿文作り		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談 三者面談 生徒意識調査(県教委) 個人面談 授業評価アンケート
	3 春 休			
	7 ・国語科 生活体験発表をする準備		・生徒会活動を通じ、学年・年齢による社 会的役割の存在を自覚し、自らの責任 を果たそうとする態度を育てる ・校内生徒生活体験発表会参加準備	個人面談 三者面談 授業評価アンケート
	夏 （作文・発表の準備）			
	9 ・現代社会 雇用・労働問題についての学習 12 ・国語科 新聞切り抜き意見文作り 1 ・生徒会誌寄稿文作り		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談 三者面談 生徒意識調査(県教委) 個人面談 授業評価アンケート
2 年	3 春 休			
	4 7 ・国語科 生徒生活体験発表をする準備	・商業科 簿記／課題研究 主体的に課題を探究する 資格取得に向けて自らの課題解決能 力を育てる	・生徒会活動を通じ、学年・年齢による社 会的役割の存在を自覚し、自らの責任 を果たそうとする態度を育てる ・校内生徒生活体験発表会参加準備	個人面談 三者面談 授業評価アンケート
	夏 （作文・発表の準備）			
	休 9		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談
	12 ・国語科 新聞の切り抜き意見文作り 1 ・生徒会誌寄稿文作り ・敬語・履歴書・小論文を学ぶ ・地歴「国民生活の変化」 ・新聞について考える ・時事資料、問題について考える		・ジョブサポート ・履歴書の記入方法、面接練習など具体 的な進路に向けての意識の高揚を図 る	三者面談 生徒意識調査(県教委) 個人面談 授業評価アンケート
	3 春 休			
	4 7 ・国語科 生徒生活体験発表をする準備		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談 三者面談 授業評価アンケート
	夏 （作文・発表の準備）			
3 年	休 9		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談
	12 ・国語科 新聞の切り抜き意見文作り 1 ・生徒会誌寄稿文作り ・敬語・履歴書・小論文を学ぶ ・地歴「国民生活の変化」 ・新聞について考える ・時事資料、問題について考える		・ジョブサポート ・履歴書の記入方法、面接練習など具体 的な進路に向けての意識の高揚を図 る	三者面談 生徒意識調査(県教委) 個人面談 授業評価アンケート
	3 春 休			
	4 7 ・国語科 生徒生活体験発表をする準備		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談 三者面談 授業評価アンケート
	夏 （作文・発表の準備）			
	休 9		・校内生徒生活体験発表会参加	個人面談
	12 ・国語科 新聞の切り抜き意見文作り 1 ・生徒会誌寄稿文作り ・敬語・履歴書・小論文を学ぶ ・地歴「国民生活の変化」 ・新聞について考える ・時事資料、問題について考える		・ジョブサポート ・履歴書の記入方法、面接練習など具体 的な進路に向けての意識の高揚を図 る	三者面談 生徒意識調査(県教委) 個人面談 授業評価アンケート
	3 春 休			

4 年	4	- 英語科 就職試験に向けて学習することにより社会で必要とされる英語力を向上させる - 国語科 敬語・履歴書・小論文を学ぶ - 地歴 時事資料。働くということについて考える	商業科 課題研究／総合実践 主体的に課題を探究する資格取得に向けて自らの課題解決能力を育てる	- 生徒会活動 クラスマッチの計画・実施を通じて集団を動かす力を涵養し行事の計画・立案と実践力をつける - 就労していない生徒への就業体験 - 進学研究 - 校内生徒生活体験発表会参加準備	個人面談(就職者指導) 三者面談 進学指導 授業評価アンケート
	夏 休			職場見学・オープンキャンパス(希望者)	
	9	商業科 ビジネス経済応用 日本の経済社会と労働、社会的責任を考える		校内生徒生活体験発表会参加	個人面談 三者面談 生徒意識調査(県教委)
	12 1	- 国語科・生徒会誌寄稿文作り - 商業科 ビジネス経済応用 地域のビジネス事情と労働を考える			個人面談 授業評価アンケート